



第 学年 組 番 名前

分からないときは
〈ヒント〉を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 拡大コピーをする。
- 2 お墓に花を供える。
- 3 人の言葉を疑う。
- 4 班長としての責任を果たす。
- 5 幼児といっしょに砂遊びをする。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましよう。

- 1 がつきの演奏を楽しむ。
- 2 学校からつうちがある。
- 3 りそを追い求める。
- 4 さいわいにもうまく進む。
- 5 なやんだ末にめいあんがうかぶ。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

〈ヒント〉

- 一 1 「拡大」の反対は「縮小」だよ。
「備える」と同じ読みだよ。
- 2 「疑わしい」という言葉もあるよ。
学級でも「班活動」をするよね。
- 3 「幼」は「幼稚園」と、「児」は「児童」と同じ読みだよ。
「き」は「理科の実験きぐ」の「き」と同じ字だよ。
- 4 「つうち」は「おしらせ」とも言うね。「つうしん」の「つう」と同じ字だよ。
「かんそう」の「そう」と同じ字で、「おもう」という意味があるよ。
- 5 「さいわい」は「しあわせ」ということだよ。
「めいじん」の「めい」、「あんない」の「あん」と同じ字だよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでい
ねいに書きましょう。

- 1 友人の家を訪ねる。
- 2 今年は昨年より五日早く雪が降った。
- 3 物語のあら筋をまとめる。
- 4 権利を主張する。
- 5 本を三冊借りる。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きま
しょう。

- 1 おり紙でつるを作る。
- 2 しかられてもへいぜんとしている。
- 3 長い時をへる。
- 4 言葉のゆらいを知る。
- 5 もんげんを守る。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |

〈ヒント〉

- 一 1 先生が家に来ることを「家庭訪問」と言うよ。
- 2 「降りる」とは読みがちがうよ。
- 3 筋書きどおりに話が進むことがあるよね。
- 4 「権利」の反対の言葉は「義務」だよ。
- 5 本の数え方だね。
- 二 1 おり紙は、手を使うから「てへん」だよ。
- 2 「へいき」の「へい」と「しぜん」の「ぜん」の組み合わせだよ。
- 3 時間がたつことを「時間がけいかする」とも言うよね。
- 4 「ゆらい」とは、「ある物事がたどってきた道。いわれ。」のことだよ。
- 5 「もんげん」とは、「家のもんを入れるせいげん時間のこと」だよ。



分からないときは
「ヒント」を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いていねいに書きましょう。

1 窓のさんまででいねいにふく。

2 前を走っている人とのきよりが縮まる。

3 茶道では、正座してお茶をいただく。

4 晩ご飯を作る。

5 山の頂上に向かう。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いていねいに書きましょう。

1 期限切れでむこうとなる。

2 布をおる。

3 物語のこうそを練る。

4 有名な作家のじきひつの手紙。

5 でんちで動くおもちゃで遊ぶ。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

「ヒント」

- 一 1 天気の良い日は、「窓」を開けるよね。
- 2 きよりが「短くなる」ことを言いかえると、「縮まる」になるよ。
- 3 ずっと「正座」をしていると、足がしびれるよね。「正」は「正式」と同じ読みだよ。
- 4 「朝」、「昼」、「晩」と言うよね。
- 5 「頂」は「山頂」と同じ読みだよ。
- 二 1 「む」は「むり」と、「こう」は「こうか」と同じ字だよ。
- 2 「いと」を使うから「いとへん」だよ。
- 3 「こう」は「こうせい」と、「そう」は「りそう」と同じ字だよ。
- 4 「じきひつ」とは「ちよくせつふでをとって書く」ことだよ。
- 5 「でん」は「でんき」と、「ち」は「いけ」と同じ字だよ。

正しく覚えようね！



分からないときは
〈ヒント〉を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

1 ごみを捨てないようにしよう。

2 目的の本を探す。

3 将来の夢を語る。

4 大会への参加が認められる。

5 宇宙について書かれた本を読む。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましょう。

1 新刊本が明日はつばいされる。

2 昔からのふうしゅうを守る。

3 明るいひょうじょうに心ひかれる。

4 おじがしよゆうする牧場。

5 よさんを決めて買い物をする。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |

〈ヒント〉

一 1 「捨てる」と「捨う」をよくまちがえるよね。

2 未知の場所に行つて、いろいろな物事を探ることを「探検」と言うよね。

3 「将来」と「未来」は同じような意味だよ。

4 人から「認められる」とうれしいよね。

5 「宇宙旅行」に行つてみたいね。

二 1 「はつ」は「はつおん」と、「ばい」は「う(る)」と同じ字だよ。

2 「ふうしゅう」とは「その地方に長年伝えられてきた生活や行事のしきたり」だよ。

3 「ひょう」は「おもて」と、「じょう」は「かんじょう」と同じ字だよ。

4 「しよゆう」とは「自分のものとしてもつこと」だよ。

5 「よ」は「よてい」と、「さん」は「けいさん」と同じ字だよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは
「ヒント」を見よう。

一次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 日当たりのよいところに干す。
- 2 出版された順に本を並べる。
- 3 期限を延長する。
- 4 実が熟して食べごろになる。
- 5 推理小説を読む。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

二次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましよう。

- 1 姉に教わりながらしゅげいをする。
- 2 しこう力がある。
- 3 選ばれたことをこうえいに感じる。
- 4 しょほ的なまちがいに気付く。
- 5 ざつおんを気にせず集中する。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

〈ヒント〉

- 1 せんたく物を「干す」ときは、よく乾くように日当たりのよいところを選ぶよね。
 - 2 ベストセラーの本は、店頭が目立つ場所に「並べる」よね。
 - 3 「延」は「延期」と、「期」は「期間」と同じ読みだよ。
 - 4 「熟す」は「成熟」や「未熟」と同じ読みだよ。
 - 5 「推理」とは、「事実や経験をもとに考え、まだ知られていないことについて考えること」だよ。
- 二
- 1 物をてづくりするのは楽しいよ。「げい」は「えんげい」と同じ字だよ。
 - 2 「しこう力」とは「おもったりかんがえたりする力」のことだよ。
 - 3 「こう」は「ひかり」と、「えい」は「さか(える)」と同じ字だよ。
 - 4 「しょほ」とは「習いはじめの段階」のことだよ。「ほ」は「ほこう」と同じ字だよ。
 - 5 「ざつ」は「ざつそう」と、「おん」は「おんせい」と同じ字だよ。

第 学年 組 番 名前

 分からないときは、
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 器械体操の選手の技を見る。
- 2 妹の机の上にプレゼントを置く。
- 3 階段を使って屋上まで行く。
- 4 花だんへの水やりを担当する。
- 5 思い出を胸に刻む。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 妹のこうぶつは少しあまい卵焼きだ。
- 2 じつような道具を開発する。
- 3 自分のちようしよをのばす。
- 4 かりに失敗しても、チャンスは何度でもある。
- 5 みごとなせんせきを残す。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

〈ヒント〉

- 一 1 スポーツを始める前にはしっかりと準備体操をするよね。
教室には、机といすがあるよね。
- 2 「階」は「二階建て」と、「段」は「手段」と同じ読みだよ。
- 3 「担当」とは「仕事として受けもつこと」だよ。「担」は「分担」と同じ読みだよ。時を刻むものが時計だよ。
- 二 1 「こうぶつ」とは「すきなもの」のことだよ。
2 「じつ」は「じじつ」と、「よう」は「ようじ」と同じ字だよ。
3 「ちようしよ」とはよいところだよ。反対は「たんしよ」と言うよ。
理科の実験のとき、よく「かせつ」を立てるよね。
5 「せんせき」とは「たたかいのせいせき」のことだよ。



分からないときは
ヒントを見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

- 1 幼い子どもたちと砂場で遊ぶ。
- 2 自分の住んでいる地域のことを知る。
- 3 骨|おり損に終わる。
- 4 学級|日誌に今日の感想を書く。
- 5 よけいなものを取り除く。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましょう。

- 1 自分がしたことをはくじ|しようする。
- 2 虫が|かふんを運ぶ。
- 3 世界遺産になった富岡|せいし|場。
とみおか
- 4 しま|かのさわやかな風。
- 5 朝ねぼうしてちようし|がくるう。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

〈ヒント〉

- 一 細かい砂がまい上がってほこりのように見えるものを「砂|ほこり」と言うよね。
- 2 「地」は「地方」と、「域」は「海域」や「流域」と同じ読みだよ。
- 3 「骨がおれる」とは「活動する力を必要とする。困難だ。」という意味だよ。
- 4 「日記」と似ているけど、「日誌」の方がより公的なものだよ。
- 5 「除雪」は「雪を除く」、「除草」は「草を除く」ということだね。
- 二 1 「はく」は「こくはく」と、「じよう」は「しようじよう」と同じ字だよ。
- 2 はなのおしべにあるこなのようなもの。虫や風によって運ばれて、めしべの柱頭につくんだよ。
- 3 「せいし」とは、「い」とをつくることだよ。
- 4 「しまか」とは「なつのはじめ」だよ。
- 5 「ちよう」は「たいちよう」と、「し」は「しそん」と同じ字だよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは、
〈ヒント〉を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

1 国宝を見に行く。

2 将来は通訳の仕事がしたい。

3 楽しみながら俳句をよむ。

4 手を合わせて拝む。

5 忘れ物をしないように気を付ける。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

1 ろせんバスに乗る。

2 習ったことをおうようして問題を解く。

3 なみだがほおをつたう。

4 ひめいを上げる。

5 熱でへんけいする。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

〈ヒント〉

一 1 「奈良の大仏」も「国宝」だね。「宝」は「寶石」と同じ読みだよ。

2 「英語を日本語に訳す」と言うよね。

3 「五・七・五」のリズムで、「季語」を入れることが基本だよ。

4 手を合わせるから「てへん」が付いているね。ハエが足をすり合わせ姿も「拝んで」いるよだね。

5 勉強道具を忘れたら、授業で困るよね。

二 1 「ろせんバス」は、「決められたろを決められた時間に走っている」よね。

2 「おう」は「たいおう」と、「よう」は「もち（いる）」と同じ字だよ。

3 「つた（える）」という字を書くとよ。

4 「ひ」は「かな（しい）」と、「めい」は「な（く）」と同じ字だよ。

5 「か（わる）」と「かたち」という字の組み合わせだよ。

いろいろな言葉を
覚えていこうね。



第 学年 組 番 名前

分からない言葉は
「ヒント」を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 県庁所在地を覚える。
 - 2 組織の改革を進める。
 - 3 卵からひながかえる。
 - 4 今にも雨が降り出しそうな灰色の空。
 - 5 鉄棒の練習をする。
- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 レモンのさんみを味わう。
 - 2 名ぼにとよろろくする。
 - 3 劇のはいやくが発表される。
 - 4 ひつきテストを受ける。
 - 5 陸上ぶいんをつのる。
- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |

〈ヒント〉

- 一 1 愛媛県だと松山市が「県庁所在地」だね。
 2 「改」は「改築」や「改造」と、「革」は「革命」と同じ読みだよ。
 3 「卵焼き」は、お弁当によく入っているよね。
 4 「灰色」のことを「グレー」とも言うよね。
 5 「鬼に金棒」という言葉は「ただでさえ強いのに、さらに強さが増すこと」だよ。
- 二 1 「さん」は「さんそ」と、「み」は「みかく」と同じ字だよ。
 2 「とう」は、「のぼ(る)」という字で、世界遺産「とうろく」という言葉があるよ。
 3 「はいやく」とは「やくを割り当てる」こと。「はい」は「くば(る)」という字だよ。
 4 「ひつき」とは「書くこと」だよ。「ひつき」用具とも言うよ。
 5 「ぶいん」とは「そのぶに所属しているいちいん」だよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは、
ヒントを見よう。

一次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 太陽系に属する惑星。
- 2 会社に勤務する。
- 3 親に孝行する。
- 4 天皇や皇帝のきさきを皇后という。
- 5 誤解していたことを謝る。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |

二次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましよう。

- 1 日本れつとうの地図を見る。
- 2 液体をかねつする。
- 3 急いで答えをもとめる。
- 4 日本こゆうの文化について学ぶ。
- 5 しょうみ期限を確かめる。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |

ヒント

- 一 1 「にんべん」が付いた「係」も同じ読みだよ。
- 2 「勤」は「通勤」と、「務」は「任務」と同じ読みだよ。
- 3 「孝行」とは「人を大切にすること」だよ。
- 4 「后」の字は「きさき」とも読むよ。
- 5 「誤って理解している」ことを「誤解」と言うよ。
- 二 1 「れつ」は「れつしゃ」と同じ字だよ。日本は「しま国」だね。
- 2 「か」は「くわ(える)」「という字で、「かねつ」とは「ねつをくわえること」だね。
- 3 「もと(める)は、「よつきゆう」や「ようきゆう」と同じ字だよ。
- 4 「こ」は「こいて」と、「ゆう」は「ゆうりょう」と同じ字だよ。
- 5 「しょうみ」とは「料理などをほめあじわう」ことだよ。「しょう」は「しょうじょう」と同じ字だよ。